

大人になるということ

第3学年主任 江口 友広

54回生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましても、お子様が3年間の高校生活を終え、晴れの門出を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。この3年間、育友会や母の会の活動をはじめ、保護者の皆様には多大な協力、ご支援をいただき、たいへんお世話になりました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

皆さんは旅立ちの日を迎えた今、佐世保西高校での3年間にどのような思い出が残っていますか。毎日、学習と部活動に明け暮れて、辛く苦しいことも多かったと思います。しかし、それらを乗り越えてきた皆さんは入学当初に比べれば遙かに頼もしく、逞しい人間に成長できたと思います。3年間で一番に成長を感じたのは、やはり今年の体育大会でした。夏の真っ盛り、わずか2週間という短い期間にもかかわらず、3年生一人一人が1・2年生に的確な指示を与え、1・2・3年生全員で力を合わせて見事に体育大会を成功へと導き、学校全体を盛り上げてくれました。応援合戦での生き生きとした表情、終わった後の達成感に満ちた笑顔が今でも忘れられません。

もう1つ、印象に残っているのが2年生で行われたベトナム研修旅行です。ルンテービン高校との交流会では、現地の高校生と国を超えて手を取り、一緒に「ホーおじさん」を歌い、英語を使って言葉を交わし、感動を分かち合いました。ベトナムを知り、そして日本を再発見したこの研修旅行は、貴重な経験であり、これから世界に羽ばたこうとする皆さんの大切な財産になったと思います。

さて、卒業にあたりこれから大人になる皆さんへ大人の役割を一つだけお話します。「大人は子どもの前では常に手本でなければならない」と私は思います。例えば、大人は子どもの前では横断歩道のないところでは道路を渡ってはいけません。大人は子どもの前ではゴミはしっかり分別して捨てなければなりません。大人は子どもに対して普段から正しい大人でなければならないのです。皆さんがご両親を手本にここまできたように、今度は皆さんが大人として子どもたちの手本となる番なのです。これから皆さんがそのことを忘れず、いろんな分野で子どもの手本となり活躍すれば、素晴らしい未来を作り上げることができると思います。皆さんにはこれからの未来を作り上げる責任があるのです。

これからは西高を離れ、学生としてまたは社会人として新たな道を歩んでいくことになります。どうか母校西高をいつまでも愛し、立派な大人に成長してくれることを期待しています。

